

事務事業名		文化財保護事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課
総 計 画 体 系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>		所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	板垣 旭
	施策名	(32)地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号	0854-40-1104 (内線) 4750
	目的 対 象	市民	意 図	統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。			
	基本事業名	(096)地域文化の保存継承		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 3 項 目 中事業 中事業名 2 5 3 5 0 1	文化財保護事業 文化財保護事業	
目的 対 象	市民	意 図	地域文化を次世代に伝える。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
文化財保護審議会を開催し、その建議に基づき、文化財の保護及び活用に関して必要な業務を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	①文化財保護審議会事務 ②指定文化財調査 ③菅谷たたら防災設備保守点検契約事務 ④嘱託報酬・旅費・需用費支払い事務 ⑤指定文化財候補の調査 ⑥コウノトリの保護 ⑦指定文化財修理補助金交付事務	①文化財保護審議会事務 ②指定文化財調査 ③菅谷たたら防災設備保守点検契約事務 ④嘱託報酬・旅費・需用費支払い事務 ⑤指定文化財候補の調査 ⑥コウノトリの保護				
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	ア 文化財保護審議会	回	1	1	0	1
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	市内指定文化財	ア 指定文化財の件数	件	87	88	88	88
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
・保護、継承すべき文化財を調査し指定を行う。 ・指定文化財を適正に保護し、整備活用を図る。	ア 指定文化財協議件数	件	2	2	2	2	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
報酬:2,040千円 報償費:210千円 旅費:409千円 需用費:746千円 役務費:77千円 委託料:2,710千円 備品購入費:18千円 負担金補助及び交付金:140千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	2,463	2,665	6,350	2,817
		事業費計 (A)	千円	2,463	2,665	6,350	2,817
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	63	80	200	
		人件費計 (B)	千円	247	317	815	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,710	2,982	7,165	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
文化財保護(特に「コウノトリ」)に関する関心が高まっており、市民からいろいろな意見が寄せられている。ただ、本課だけで解決する事案ではないため、関係部局と密に協議しながら対処する必要がある。	近年「文化財の活用」が重視されるようになったので、本業務も「文化財の保管・保護」から「文化財の活用を意識した保管・保護」へと方針転換を図っている。	文化財保護法に基づき文化財の適正な保護が求められている。

事務事業名	文化財保護事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------	-----	-------	-----	------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	文化財保護の成果は、「文化財の価値を下げることなく次世代へと継承すること」であり、そのためには「劣化を遅らせる措置」を定期的に行う必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	法令に基づき廃止はできない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業がない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最低限の予算であるため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の人数で行っているため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	・文化財保護法、雲南市文化財保護条例に基づくものである。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	・文化財の受益者は市民である。		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		文化財保護について新たな課題(活用を意識した保護方法)が見えてのきたので、次年度以降はその課題解決に向けた取り組みが必要。		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下		×																
<p>・指定文化財候補の調査・研究をおこなったうえで、適切な保存・保護措置を講じる。</p> <p>・文化財の活用は劣化の進行を早めることから、「劣化を遅らせるための適切な保存処理」を行ったうえで活用することが重要である。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		